

旭小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・本年度、全学年で生活科や総合的な学習の時間を使って、地域の「人・もの・こと」について学び、校区のよさを感じてきました。そこで学んだことを、「あさひっ子発表会」で保護者や地域の方に発信をしました。下記は活動の概要です。旭小学校では、校区の特色を生かしてESDの活動をすすめ、地域に愛着をもち学び続ける力を育てています。

・活動の実際

① みんなが暮らしやすい町 旭校区（3年生）

旭校区には、総合福祉センター（あいトピア）や障害者福祉会館（さくらピア）があり、さまざまな人が利用しています。

3年生は、「みんなが暮らしやすい町 旭校区」をテーマに校区の公園、神社、福祉施設等を見学し、それぞれのよさについて調べ、身近なところにユニバーサルデザインやバリアフリーなど誰もが暮らしやすい工夫がされていることに気づきました。また、高齢者福祉講座を通して、お年寄りがどんな手助けを必要としているかを学びました。

そして、旭校区の一員として自分たちができることは「いろいろな立場の人に笑顔で挨拶をし、困っている人に積極的に声をかけていきたい。」との思いをもちました。



② 守れ！自分の命 みんなの命（5年生）

旭校区は、豊橋市の想定する南海トラフ地震の家屋被害予想調査結果で、全壊・焼失率86%という高い数値が出ています。そこで、出前講座で講師を招き、防災についての話を聞いたり起震車を体験したりしたことで、地震の恐ろしさを感じました。自分たちでできることを考え、家庭で防災グッズを点検したり、家具の固定ができていないかを調べたりして地震に備えをしました。

「あさひっ子発表会」では、学んだことから地震時の災害を少なくするための手だてを参観者に呼びかけると共に地域のつながりの大切さを訴えました。



③ 平和について考える（6年生）

第二次世界大戦を小学生で体験された方の話を聞き、戦争の恐ろしさを実感しました。また、遠足で毎年訪れている豊橋公園に陸軍の第18連隊があったことを知り、ユネスコ協会の方と公園内の戦争遺跡を見学しました。ユネスコ協会の方から、戦争遺跡について話を聞くことで、いつも利用している公園に多くの歴史があることを学ぶとともに、自分たちの生活が恵まれていることにも気づきました。「平和を守るためには、待っていてはだめ。」というユネスコ協会の方の話から、自分たちにもできる平和活動について考えを深めました。

